Together

Shukutoku University Magazine
No.232 | 2020.10.1

緊急特集

淑徳大学の新型コロナウイルス感染症への対応

学長メッセージ

コロナ禍と利他主義

ともいきのこころ

学祖・長谷川良信先生の足跡

淑徳大学
SHUKUTOKU

大学の講座をきっかけに マイクロソフトオフィスの達人に

「MOS世界学生大会2020」日本代表一次選考（エクセル）で全国1位

照井大地
Terui Daichi

経営学部経営学科3年生。1年生のころからMOS講座を受講。「マイクロソフト オフィス スペシャリスト マスター」の称号を持つ。サークルは現代日本文化研究会に所属し、抹茶の食べ歩きとカードゲームを愛好する。

藍よりも青く

経営学部経営学科3年生
照井大地さん

照井大地さんは、「MOS世界学生大会2020」日本代表の一次選考で大学・短期大学部門（エクセル）において全国1位に輝きました。MOSとは「マイクロソフト オフィス スペシャリスト」の略で、エクセルやワードといったマイクロソフトオフィス製品の利用スキルを証明できる資格です。選考には全国から延べ3万6000人超の学生が参加しました。照井さんはエクセル部門で頂点に立ったのです。1年生のころから大学のMOS講座を受講した成果だと振り返ります。

友人たちと受講しMOSマスターに

Q MOSの資格を取ったきっかけは何ですか

1年生のときに大学のMOS講座を知ったことです。周り

にもMOSの取得に挑戦する友人がいて、まずワードの資格を仲の良い友人たちと一緒に受講して取りました。それから、どうせなら全部の資格を取ろうと思って、パワーポイント、エクセルと資格を取っていきました。今は「マイクロソフト オフィス スペシャリスト マスター（MOSマスター）」の称号を持っています。

エクセルの資格試験で満点をとり、先生に「この成績をもとにMOS世界学生大会2020に応募しては」と声を掛けられました。応募したところ、1位になったんです。本来なら表彰式があるのですが、新型コロナウイルスの影響で、ありませんでした。二次選考で、世界大会の決勝戦への参加資格は逃しましたが、今年は世界大会自体が中止になっています。

必要な情報を凝縮したMOS講座

Q MOS講座は資格を取るうえでどうでしたか

受講した講座は、1週間で必要な情報を密に教えてくれるので、役立ちました。テキストをすべてなぞるというやり方ではなく、大切なところを重点的に教えてくれます。講座が終わった後、毎日、情報教室に通って模擬試験のプログラムをこなし、試験に備えました。

パソコンは大学に入って初めて使うようになったんです。自分のパソコンを持っているわけではなく、情報系の授業の時だけ使っていますね。

将来仕事で役に立つ技術を身につけたいので、情報系の授業を多く履修しました。今では情報の授業やMOS講座などでスチューデント・アシスタント（SA）として、1、2年生のサポートをしています。

就活で資格をアピール

Q 就活するうえで、MOSの取得にメリットはありますか

商品開発をしたいと考えていて、履歴書の資格欄にMOSを書いています。仕事では市場のデータ分析も必要です。情報系の授業でデータ分析を学んだときに、MOSの勉強が役に立ったと感じます。物事を客観的に見るのが得意なことが商品開発に活かせると思うので、MOSに加え、アピールしていきたいですね。

挑戦する背中を押してくれる環境に感謝したいです！

MOS（マイクロソフト オフィス スペシャリスト※）講座について

全キャンパスで、MOS講座を開講しています。今年度は、オンライン形式で実施したキャンパスもあり、次回の開講へ向けて調整中です。参加費用は約2～3万円で、2019年度は、受講者数が千葉・千葉第二（68人）、埼玉（260人）、東京（23人）。春と夏のMOS検定で合格率100%を達成したキャンパスもあり、手厚いサポートを行っています。

※ワードやエクセルなどマイクロソフトオフィス製品の利用スキルを証明できる資格です。

MOSの詳細はこちら

藍よりも青く

青は藍より出でて藍より青し。教えを受けた弟子が教えた師を超える人物に成長することのたとえ。活躍する在学生を取り上げます。

コロナ禍と利他主義

淑徳大学 学長　磯岡（いそおか） 哲也（てつや）

世界的規模で拡大するコロナ禍により、学生諸君にキャンパスでの通常の学生生活を提供することができず、たいへん心苦しい思いでおります。コロナ禍の少しでも早い終息を願います。

世界の識者が言及する利他主義

さて、コロナ禍への対応について、世界の識者の論考で、アルトゥルイズム（エゴイズムの反意語＝利他主義）にかかわるものがいくつか見られます。この用語は宗教社会学で扱われ、生物学や心理学等でもそれぞれの視点から研究が見受けられます。しかしここでは複雑な定義等は留保して、コロナ禍への対処として論じられている利他主義の基本的な考え方をみたいと思います。

ここでは、フランスの経済学者・未来学者のジャック・アタリ氏に着目します。アタリ氏は、大統領特別補佐官や欧州復興開発銀行総裁を歴任した実践的な思想家で、コロナ禍に対しても利他主義の立場から発言しています。

氏はまず『2030年ジャック・アタリの未来予測』（邦訳2017）のなかで、2030年以前に起こる人類の異常事態の一つとして、「大勢の人が命を落とすまで治療法のわからない新型ウィルスが発生する」と予測しています。

今こそ他者とともに生きる本質への回帰を

コロナ禍については、「パンデミックという深刻な危機に直面した今こそ、『他者のために生きる』という人間の本質に立ち返らねばならない。利他主義という理想への転換こそが、人類のサバイバルの鍵である」と主張します。また「自らが感染の脅威にさらされないためには、他人の感染を確実に防ぐ必要がある」ことから「利他的であることは、ひいては自分の利益となる」としています。

そして、自己と世界は相互依存しており、自己の幸福は他者の幸福に依存することを自覚すべきと考えます。氏はさらに、学校教育の場で、利他主義や寛容な精神を養う教育を実践することを主張しているのです。

淑徳大学の建学の精神は、学祖長谷川良信先生よりいただいた「他者とともに生きる」、すなわち「利他共生」であります。この原理的精神は、コロナ禍の状況にあって、ジャック・アタリ氏の利他主義とも一脈通じる普遍的価値を内包しているように感じ、教育にたずさわる者として意を強くした次第です。

磯岡哲也
Isooka Tetsuya

1955年千葉県生まれ。専門は宗教社会学。92年助教授として入職。2000年教授。05年度韓国東国大学校にて交換教授。コミュニティ政策学部長、学長特別補佐、副学長を経て17年学長就任。学生の能動的学習、サービスラーニング等の学外地域プログラム、大学間連携などに取り組む。20年より淑徳大学短期大学部学長を兼務。

緊急特集

淑徳大学の新型コロナウイルス感染症への対応

淑徳大学では、学生、教職員の健康と安全を最優先に、
新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じるとともに、
教育研究活動の継続、さらには学生の皆さんの学修活動の
支援に取り組んでおります。
授業機会の確保や経済支援、オンラインによる各種対応など、
本学の新型コロナウイルス感染症に関する
取り組みを紹介します。

授業機会の確保

遠隔授業と一部対面での授業実施

前期は、各キャンパスの所在地域の感染状況等を考慮しながら、双方向型（Zoom等の活用）、オンデマンド型（YouTube等の活用）、課題提示・研究型で遠隔授業を行いました。実習・実技系科目や、新入生の少人数クラスなど、一部は対面型で実施。今後も、より良い学修環境の確保に努めます。

安心・安全なキャンパス運営

一部施設の開放とキャンパス内の感染防止対策

各キャンパスが所在する地域の感染状況等を考慮しながら、対面授業や、同意を得た上での実習の実施、図書館の利用、強化指定クラブの活動を一部で再開しました。キャンパスの学生相談窓口や事務室には飛沫防止シートや消毒液を設置。適宜、施設を消毒しています。バスの乗車定員の制限、マスクの着用も徹底しました。

学校法人大乗淑徳学園 学生・生徒・児童・園児 緊急支援のお願い
詳細はこちらをご覧ください

安心・安全なキャンパス運営

日中文化交流協会と海外協定校から マスクを寄贈頂きました

親交の深いNPO法人・日中文化交流協会（伊勢田政員理事長）と本学の海外協定校であり、盛んに交流している中国・東北師範大学人文学院（呂英華学長）よりマスクの寄贈を受け、各キャンパスで使わせて頂きました。心より御礼申し上げます。

詳細はこちら

経済支援

緊急学生支援金（独自）

新型コロナウイルス感染症の拡大と緊急事態措置の実施を重く受け止め、また新型コロナウイルス感染症の影響を受ける学生の皆様に対して、経済的な緊急支援策を実施しました。2020年度前学期に大学、大学院、短期大学部に在籍する学生を対象に、一律5万円を支給しました。

詳細はこちら

経済支援

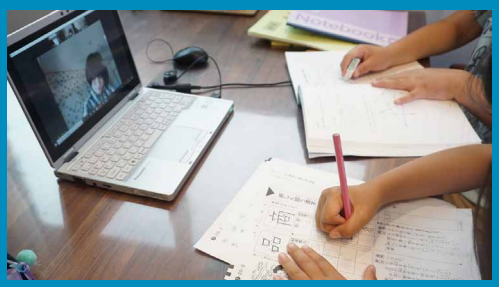
緊急学費減免制度の新設（独自）

コロナ禍により家計が急変した学生・保証人の皆様への支援として、意欲のある学生が、経済的な理由により修学を断念することがないよう、本学独自の緊急学費減免制度を創設しました。また、文科省による「学びの継続」のための『学生支援緊急奨学金』も受け付けました。

詳細はこちら

活動経費支援

新型コロナ感染拡大に伴う ボランティア活動経費の助成制度を追加



より多くの学生が、災害支援をはじめ幅広いボランティア活動を行えるよう、大学地域支援ボランティアセンターには、活動経費の助成制度があります。このたび新たに、「新型コロナ感染拡大に伴うボランティア活動経費の助成制度」が追加されました（上限額10万円まで）。

詳細はこちら

オンラインによる各種対応

キャリア支援

千葉、埼玉、東京キャンパスでは、3年生を対象とした進路に関する全員面談を「顔の見えるキャリア支援」としてオンラインで実施しました。千葉第二キャンパスでは国家試験対策として、遠隔での対策講座を実施し、一部、少人数の対面形式での講義も行いました。

詳細はこちら

オンラインによる各種対応

オンライン海外留学（国際交流）

8月10日～28日、本学協定校のカナダ・トンプソンリバーズ大学でオンラインによる3週間の英語研修が実施され、本学からは千葉・東京キャンパスの学生4名が参加しました。なお、本学の協賛会より1人あたり2万円の受講費用の補助がなされました。

詳細はこちら

オンラインによる各種対応

新入生向けメッセージ動画、卒業生へのメッセージを発信

入学式や各種イベント、対面による一斉授業が中止となり、不安を抱える新入生に向けて11学科の教員によるメッセージ動画を制作し、大学HP等で配信しました。また、医療・福祉の現場で活躍する卒業生の皆様へ、メッセージを発信しました。

詳細はこちら

詳細はこちら

オンラインによる各種対応

Webオープンキャンパス（OC）の実施

WebOCは、オンライン形式で入試・奨学金説明会や在学生による大学生活のプレゼンテーション、教員によるオンライン授業を実施しました。完全予約制の進学相談会（来場型）も行い、アドミッションスタッフ（在学生）が感染防止策を徹底して、誘導などの対応にあたりました。
※キャンパスによって実施内容は異なります。

アドミッションセンターTwitterはこちら

学祖・長谷川良信先生の足跡

――写真から広がる長谷川良信先生の世界――

写真スポット

大巌寺（千葉市中央区大巌寺町）

1961年（昭和36年）4月20日に「法然上人七百五十年忌大法要」を執り行っている良信先生の写真です。浄土宗の祖師・法然上人の法要にあわせ、大巌寺の建物や新規事業を内外に披露する意味がありました。

1 僧侶としての良信先生

学祖・長谷川良信先生は、社会福祉事業家であり、教育者でしたが、その活動の源泉、本質には、浄土宗の僧侶としての仏教思想に基づく活動や思い、問いかけがありました。

淑徳大学にゆかりのある大巌寺の住職には、51年（昭和26年）12月に就任しています。 66年（昭和41年）8月に亡くなるまで、戦後の荒廃した大巌寺の復興につとめています。号は謙誉上人です。

2 大巌寺復興計画の構想

仏教福祉事業に関する多くの論文を発表し、この分野の牽引役でした。期待を一身に集めていたといえます。終戦後の49、50年（昭和24、5年）にかけて、仏教界や仏教徒のあり方の根源的な問いかけも発しています。そのようななか、住職をつとめていた時期に3回にわたりブラジルへ渡航しました。ブラジルでの活動は、壮大な発想力をもたらし、大巌寺の復興計画に影響しました。

良信先生は、大巌寺を地域の公共の器（うつわ）として捉えました。

3 精神の具現化

大巌寺は「心の糧を得る安らぎの場であり、コミュニティとしての共同性を学ぶ場であり、個の育ちと安心のできる社会を築くための教育と福祉の基地でありたい」と述べられています。

先生にとって、大巌寺は「宗教・社会福祉・教育」の三位一体を実現する場だったのです。良信先生の願いが具体的な形に現れたのが、大巌寺文化苑（大巌寺文化センターを昭和40年改称）の構想でした。

4 淑徳大学の開学へ

構想には、広大な寺地の裏山を切り開き、大学として生かすことも含まれていました。当時、「私は、大巌寺と淑徳大学というものを二元的に考えたくない」と良信先生は発言されていました。

福祉を宗教および教育と一体なものとして、実現しようとする先生の理念は、淑徳大学の福祉教育の根幹の理念として、現在も脈々と受け継がれています。

大巌寺について

山号は龍澤山（りゅうたくさん）といい、1551年（天文20年）に生実（おゆみ）城の城主原氏の援助で、道誉貞把（どうよていは）上人が創建。浄土宗の関東十八檀林の名刹。江戸時代は幕府に保護され、多くの学侶が学びました。2016年に開館した宝物殿は、ゆかりの宝物を展示しています。大学の授業の一貫で、また職員の研修でも活用され、地域の住民からも親しまれています。

参考文献：
長谷川匡俊『大巌寺史話』2001年
長谷川匡俊『長谷川良信の生涯　ートゥギャザー ウィズ ヒムー』2020年

（淑徳大学アーカイブズ）

From Teacher

あふれる情報に流されないための処方箋

スマートフォンの画面をのぞけば、専門家からマスコミ、友人知人に至るまで、さまざまな発信源の情報が押し寄せてきます。私たちはどうすれば、必要な正しい情報を選び取れるのでしょうか。横手拓治教授は、情報の信頼性に注意すること、Webに本を読むことをプラスして複眼的に物事を見ることが大切だといいます。

横手拓治
Yokote Takuji

人文学部表現学科教授。1960年生まれ。中央公論社、中央公論新社などで編集者・編集長を務める。専門は出版文化論、文芸評論。思想誌『ひらく』編集委員長。近著に『日本マンガ全史 「鳥獣戯画」から「鬼滅の刃」まで』（平凡社新書・筆名澤村修治）。

企業相手に調査し助言する「リサーチャー」という情報のプロと仕事をしたことがあります。彼らには不文律があって、情報は次の順で探しています。①官公庁資料②業界団体資料③シンクタンク資料④民間調査会社資料⑤新聞・雑誌―ここまでが対象です。

いまコロナ禍にあって、日々情報が飛び交っています。官公庁や医療関係団体のデータ、つまりリサーチャーが最も信頼を置く情報ですら国民の不安と不満を増幅させ、世論を混乱させている。また、専門家の見解も一致せず、確かなことは何もわからないのが実状です。情報が大量となり精緻となる一方で、信頼が失われたのが現代でしょう。

そのなかで私たちは、どうすればいいのか。名案はなく、昔から言われている原点に立ち返る必要があります。複数の情報を突き合わせる、発信者・出典を確認する、権威主義と懐疑主義のバランスを取る、こういったところです。

加えて、Webだけでなく本を読んでほしいですね。おすすめは、新書。1日で一つのテーマの全体像を大まかにつかむことができます。それと、百科事典。図書館に行けば見られますし、コトバンクなどからWeb上でもチェックできます。一つの言葉や情報には必ず背景があり、関連する事項があります。百科事典はそれらを得るのに適しています。

こうした作業をくり返し、過情報を自分なりに日々整理する。そのうえで物事を複眼的に見ることが大切です。

（談）

患者の個別性に寄り添う

向後奈央
2018年 看護栄養学部看護学科卒
独立行政法人 国立病院機構 千葉東病院 看護師

向後奈央さんは、看護学科を卒業し千葉東病院に入職して3年目。
患者の個別性を大切にし、一人ひとりに寄り添う看護を実践しています。
クルーズ船で新型コロナウイルスの集団感染が起きた際、
病院内に設けられた新型コロナウイルス専門の病棟で軽症者の看護にあたりました。

実習で学んだ患者との共生の大切さ

向後さんが担当するのは、小児科、リウマチ・アレルギー内科、糖尿病・内分泌内科です。子どもからお年寄りまでさまざまな年代の人と接する中で「患者さんの想いに寄り添う」ことを大切にしています。在学中から慢性疾患の看護を志し、患者との交流を多くもってきました。

「糖尿病や腎臓病は一生の病気です。在学中の実習で、淑徳大学の『共に生きる』という理念を大切に、病気とどう付き合い、生きていくかという患者さんの想いを聴いて、一緒に考えることを学びました。今、患者さんと接する中で、それが自然とできているな、学んだことが生きているなと思います」

患者はゆっくり話したい人、テンポの速い人、病気や薬の知識が豊富で通り一遍の話では満足しない人もいて十人十色です。

「個性や、これまで病気と付き合ってきた歴史を、看護師同士の申し送りやカルテで把握します。患者さんが気持ちよく話せるよう、どうしたらいいか考えるのが好きですね」

今年から後輩たちの実習も担当するようになりました。

「楽しいですね。実習の時、ガチガチに緊張していた自分を覚えているので、『ご飯何食べたの』とか何気ない会話で緊張をほぐしてあげたいです」

「患者さんからのご指名」が仕事のやりがい

今年2月、大きな変化を体験しました。クルーズ船の新型コロナウイルス感染症の軽症者を受け入れる専門病棟に移ったのです。専門病棟では感染管理が大切になるため、感染症を担当してきた向後さんに、白羽の矢が立ちました。向後さんは、ガウンにキャップ、ゴーグル、マスクに二重の手袋という重装備で、看護と感染管理にあたりました。

「ほかの病棟には、免疫を抑制したり透析を受けたりする患者さんもいらっしゃいます。ウイルスを絶対に外に出してはいけない、スタッフのうち1人でも感染管理を怠ってしまったら、大変なことになると、声を掛け合っていました」

その後、すべての軽症者が退院し、もといた病棟に戻りました。新型コロナウイルスに対する同僚や患者の意識が、段違いに高まったと感じています。感染で疾患が一気に悪化しかねない患者も多く、「患者教育に力を入れようとしているところです」。

仕事のやりがいは「患者さんからのご指名」とのこと。

「『向後さん、明日もいるの？』とか『生活指導は向後さんにお願いしたい』と言ってもらえると、嬉しい、頑張ろうと思います」

満面の笑みでこう話してくれました。

向後奈央
Nao Kogo

2018年、看護栄養学部看護学科卒。在学中に糖尿病や腎臓病など慢性疾患の看護を志す。千葉東病院での実習では、できていないところを指摘してくださるのはもちろん、良いところも評価し伝えてくれる指導者に多く出会う。面倒見と雰囲気の良さが決め手となり、入職を決めた。

ビジネスで重要さを増す福祉の視点

中根 裕

1994年 社会学部（現・総合福祉学部）社会福祉学科卒

パルシステム生活協同組合連合会 地域活動支援室 室長

中根裕さんはパルシステム生活協同組合連合会（以下、パルシステム連合会）の地域活動支援室長として、パルシステムグループの地域に密着した活動を支えています。食材をコロナ禍で生活に困窮した学生のために提供したり、生活困窮者への支援に関わったりと、福祉の側面を持つ仕事も少なくありません。社会福祉学科で学んだことが、仕事で生きているのです。

福祉の視点を必要とする仕事が増加

中根さんは大学卒業後、福祉以外の領域で活躍してきました。「ビジネスにおいて福祉の視点が重要になっている」と肌で感じています。

生協は、出資金を出した消費者が組合員となり、商品やサービスの購入、事業の運営や地域活動などを行います。パルシステムグループは、関東を中心とする1都10県で事業を展開。食品や日用品の宅配が業務の柱です。福祉とは関係がないように思えますが、高齢化の進展やコロナ禍によって、福祉の側面を持つ仕事が増えているのです。

たとえば5月、神奈川県厚木市と同市のNPO法人の要請に応え、学生への食品の配布に協力しました。コロナ禍に伴う仕送りの減額や、アルバイトの収入がなくなるなどして生活が困窮した学生に、少しでも役に立てばと考えたのです。即席麺やレトルト食品などの在庫分を提供しました。

パルシステムは仕入れた青果の99・5%を商品として販売していて、フードロスの比率は極めて低いのですが、取り扱い量が多いので、余りも何かしら活用します。今年4～6月にフードバンクや子ども食堂に無償で提供した青果は、7トンになったと、いいます。また、5月から、都内の路上生活者に食材を配る困窮者支援も始めました。

大学で学んだ対人援助技術

地域への貢献は、食材の提供にとどまりません。7月の九州豪雨では、地域活動支援室が起案して組合員カンパを実施し1億円以上を被災地に送りました。パルシステム連合会が設立母体となった組織に、一般社団法人くらしサポート・ウィズがあり、中根さんはその専務理事も務めます。暮らしの中の困りごとの相談業務や、「居住支援」と呼ばれる住宅の確保に配慮の必要な高齢者や障がい者、低額所得者などの支援も手掛けます。

「福祉を理解しているからできる仕事も、たくさんあるんです」

大学で学んだ対人援助技術は、相談業務に欠かせず、顧客や取引先のニーズや意図をくみ取るのに役立っています。

「コロナ禍で、これだけ在宅ワークは進みましたが、オンラインにせよ、直接会うにせよ、人との付き合いの中で仕事が生まれ、人との関係の中でチャンスが生まれます。対人関係は大切にしてほしいですね」

たとえ福祉分野に就職しなくても、福祉の知識はその後の人生で大切なものになる。中根さんはこう確信しています。

中根 裕
Nakane Yutaka

1994年、社会学部（現・総合福祉学部）社会福祉学科卒。エルコープ（現パルシステム千葉）に就職。印刷会社や出版社を経て2006年にパルシステム千葉に戻り、19年にパルシステム生活協同組合連合会に移る。一般社団法人くらしサポート・ウィズ専務理事も兼務。

2020年度 ホームカミングデーについて

毎年開催しているホームカミングデーについては、大学HPにて最新情報をご確認ください。社会情勢により変更が生じる場合もございます。

※最新情報（大学HP）はこちら

千葉キャンパス

特別支援学校教員養成の取り組み
教育福祉学科

7月31日、千葉県の教員採用試験1次合格者発表がありました。本学から特別支援教育枠で受験した4年生37名のうち9割が合格。志願者495名、合格者336名（1.47倍）という数から見ても、本学の合格率は圧倒的です。

新入生は入学早々「特別支援教育の理解と方法」を受講し、初めて学ぶ「特別支援教育」に驚き、新鮮な刺激を受けます。今年も「やりがいのある仕事だ」「もっと専門性を高めたい」「新しい目標ができた」と前向きなメッセージが相次ぎました。

このモチベーションを維持しながらスキルアップのための課外活動、体験学習などで専門性、実践力を高め、同時に教採対策講座で合格を目指す仕組みが確立されています。今年は遠隔による対策講座が続きましたが、それでも多くの受験生が動画で繋がり、先の大きな成果を残すことができました。

朝日新聞出版「全国大学ランキング2021」で本学は特別支援学校教員採用数全国1位になりました。学校現場では卒業生の評価も非常に高いようです。今後も「淑徳プライド」に溢れる教員養成を続けていきます。

千葉市学校教職員と学生による
合同研修会の様子（2019年6月21日実施）

新しい生活様式下でのサービスラーニングプログラムの実施
コミュニティ政策学科

コミュニティ政策学科では授業で学んだ知識を現場での体験・実践を通して深めるサービスラーニング活動を行っています。

本年度当初は新型コロナウイルス感染症の流行によりプログラムの実施自体危ぶまれる状況にありました。しかし、学生の学びを止めないこと、十分な感染対策を確保すれば対応できる部分もあることから、遠隔下で可能なプログラムから実施し始めており、学生たちはZoomを活用して企画内容を相談したり、Slack、LINEを用いて学生どうしの意見交換を行ったりするなど、非対面の状況においても熱心に活動しています。

また、現地訪問など対面での活動が主となるプログラム内容については中止・変更が検討されたり、先送りされたりしていました。しかし、三密を避けた行動様式が定着しつつあるといった社会状況の変化を受けて、受け入れ先との調整のもと、漸次実施しつつあります。

プログラムの実施にあたっては感染症拡大防止のための運用指針も策定し、指針に基づき、流行状況や活動の内容を踏まえ、安全確保を最優先にプログラムを進めています。

「TDRの旅」をテーマとした企画作りプログラムのウェブミーティングの様子

国家試験対策におけるコロナ禍対応

栄養学科

コロナウイルス感染予防に伴う遠隔授業推進と併せて、栄養学科では前期開講の実験・実習科目の一部を対面授業で行いました。学生が実技を通して身に付けなければならない科目であることを考慮して実施を決定し、「三密」を防ぐために1回の授業の学生数を約20名にとどめること、登校の際の大学バス乗車数も厳密に制限することなど、感染予防対策を徹底した上で実施しました。当日は約4か月ぶりとなる本格的な学生登校で、全員がマスク着用ながらも、この日を待ちわびていたという明るい表情が見て取れました。

実験・実習にあたっては、お互いの間隔を可能な限り離し、会話も最小限度にとどめるなど、経験したことのない環境下での実施。通常授業とは勝手の異なる形式で学生も戸惑うのでは…と教員側は心配もしましたが、不自由さを見せずに手際よく作業を進めていく姿に頼もしさを感じました。大学に登校して授業を受けられる喜びを改めて実感してもらい、後期授業にモチベーションをつなげていくことを願っています。

オンラインでも臨地実習のリアルさを追求

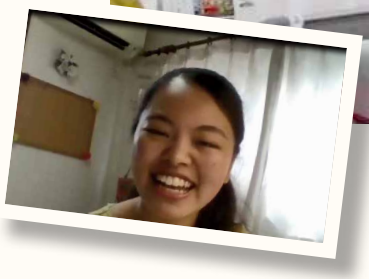
看護学科

新型コロナウイルス感染拡大期に行われた2019年度基礎看護学実習Ⅱ履修者の一部（24名）が突然の延期を余儀なくされ、予定していた7月末に第2波の到来により、再び臨地での実習ができなくなるという非常事態に見舞われました。対応するために教員も試行錯誤の繰り返しです。

臨地実習では毎朝、受け持ち患者さんのところへ出向き、実習開始のご挨拶とともに、体の具合や食事・睡眠といった基本的な療養生活の状況を伺います。今日のプログラムではそのリアルさをオンライン演習で追求します。履修学生は、あらかじめオンライン会議システムを通して、どのように声掛けを行うのか、どのような情報を得るのか戦略を練って本番に臨みます。

病室にカメラが入り患者さんが映し出され、学生さんの「おはようございます」と元気な笑顔から会話が始まります。「本物の患者さんかしら?」と思っていた学生さんもいるぐらい、見事に患者さんにみえますね。

実はこの演習、実習室でこんな風に行っていたのです。そうです、この患者さん（に見える人）は教員だったのです。



埼玉キャンパス

遠隔と対面の方法を組み合わせた就職の支援

教育学部

教員・保育士養成支援センターでは、教師・保育者としての就職に向けた支援を行っています。コロナ禍にあっても、遠隔の方法と感染防止対策を行った上で対面で行う方法を組み合わせて、例年同等の支援、さらに今年度特有の状況に応じた支援をしています。

教員採用試験対策講座（小学校教諭）は、Zoomを用いた集団での指導や集まりなどのほか、遠隔で論文添削等を行っています。また、面接試験等の個別指導は、学生の来校時間を分散して、感染防止対策をとった上で対面で実施しています。幼稚園・保育園への就職希望者については、Zoom等での集まりや個別相談を実施するとともに、Google Classroomや電話を利用したり、面接試験に向けた個別指導を感染防止対策をとった上で対面で行っています。

大学で友人と会うことができない状況もあり、就職活動や試験準備について不安を感じる学生もいますが、学生の不安や悩みに応えながら今後も支援を続けていきます。

面接試験に向けた個別指導

就活に備える「就勝合宿」をオンラインで開催

経営学部

毎年秋頃に、3年生を対象に行われていた就勝合宿を、7月11日～12日にかけて実施しました。参加者は54名、今年度は初のオンライン開催です。自分の価値観を明確にして前向きに就職活動に取り組むため、「7つの習慣」を学び、そして「働く意味」を考え直しました。

この就勝合宿に参加するまでは、働くことに対して、「お金をもらうため」「生きるために」といった目的が多かった学生たちですが、さまざまな動画を見て、グループディスカッションを経るうちに、「働く意味」「仕事のやりがい」について考え直すきっかけとなったようです。この2日間の合宿を通し、多くの参加者の「働く理由」が、合宿前と後で変化していました。

2日間の学びとして「目的をもって行動することの大切さがわかった」「なりたい社会人像になるために、どう行動していけばよいのか考えるきっかけとなった」「就職活動に入る前に自分を見つめなおす良い機会になり、意欲がわいた」など、ポジティブな感想が上がっていました。オンライン合宿という初の試みでしたが、大変密度の濃い真剣な2日間となりました。

就職活動に向けて

教員として活躍する卒業生
歴史学科

人文学部歴史学科では、毎年複数名の卒業生が教員として教壇に立つ夢を叶えてきました。2020年3月に卒業を迎えた卒業生については、学科を設置して以降最多の7名が教職に就いています。コロナ禍にあって、教員として社会人生活をスタートさせた卒業生のうち、埼玉県内の私立高等学校で教鞭を執り始めた櫻井樹里さんにお話をうかがいました。

櫻井さんによると、4月当初からの授業はすべて自宅学習に切り替えられたとのこと。6月からようやく対面式の授業が開始され、8月上旬まで夏休みの開始を延ばし、授業をしてきました。夏休み中も「自分自身の勉強や生徒たちの補習に付き合っています」と元気に語ってくれました。また、歴史学科での学びについては、「教員としての採用通知を得るまでは、毎日が本当に緊張の連続でした。大学時代に知識の習得に努めたことと、プレゼンテーションをはじめとして、人前で話す学びの機会が多かったことが現在に活きています」と振り返ってくれました。

2020年1月に行われた「教育実習報告会」を終えたときの様子。このうち7名が教員として巣立っていきました。

大学での学びを生かし広告業界で活躍
表現学科

人文学部表現学科は、表現にたずさわる業界・業種を志望する学生が多く、すでに社会へ巣立った1～3期生の活躍の舞台も広がっています。広告代理店に勤務する1期生（2018春卒）の赤間絢衣さんもその一人です。今夏に担当したアプリゲームの楽曲本の仕事では、大学で編集について学んだ経験や、卒業制作で取り組んだアプリゲームの研究が生きていると話してくれました。

ゲーム楽曲本の企画から編集まで担当した赤間さんの力作

受賞でデビューの夢をつかんだ卒業生
表現学科

表現学科2期生（2019春卒）の田中夏未さんは、大学卒業後も働きながらプロのマンガ家を目指して創作活動を続け、「第2回ラララボ！1dayハイスピードマンガ賞」グランプリを受賞されました。在学中は人の心を惹きつけるストーリーについて研究し、卒業制作ではアンドロイドと親子の絆を描いたマンガに取り組みました。プロデビューを果たした田中さんの今後の活躍が楽しみです。

受賞作「すてきなあの娘は進化人類」はLaLa 9月号掲載（ペンネーム：山吹子）

東京キャンパスは2020年4月に新校舎が完成しました。

東京キャンパス（東京都板橋区）に4、5号館に隣接して新校舎6号館が誕生しました。この建物は“新しいコミュニケーションの場を提供すること”をコンセプトに、大規模な学生食堂やラウンジといった、空間を活かしたコミュニティスペースを設置しています。新校舎は地上4階・地下1階建てです。自然採光・換気を積極的に導入した建物で、環境に配慮した省エネルギー化を目指しています。

大学広報誌「Together」読者アンケートのお願い

大学広報誌「Together」は4月と10月の年2回発行しています。保護者や卒業生の皆様に向けて、「淑徳大学の今」を届けます。皆様の貴重なご意見、ご感想をお聞かせいただきたく、下記QRコードより読者アンケートへのご協力をお願い致します。

- **千葉キャンパス**
  総合福祉学部　コミュニティ政策学部
  大学院 総合福祉研究科
  〒260-8701
  千葉県千葉市中央区大巌寺町200
  Tel 043-265-7331
- **千葉第二キャンパス**
  看護栄養学部　大学院 看護学研究科
  〒260-8703
  千葉県千葉市中央区仁戸名町673
  Tel 043-305-1881
- **埼玉キャンパス**
  経営学部　教育学部
  〒354-8510
  埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1
  Tel 049-274-1511
- **東京キャンパス**
  人文学部　淑徳大学短期大学部
  〒174-8631
  東京都板橋区前野町6-36-4
  Tel 03-3966-7631

発行日｜2020年10月1日
編集｜大学広報誌編集委員会
発行｜大学事務局
制作協力｜
株式会社ウロ、CHICACU Design Office
撮影｜黒崎健一

大学広報誌制作における新型コロナウイルス感染防止策について

本誌の制作では、写真撮影は3密を避けながら短時間で実施し、取材は電話やオンライン会議システムを活用しました。新型コロナウイルス感染防止策を徹底しながら、制作にあたりました。

令和2年度 学園祭（ホームカミングデー）について

詳細は、大学ホームページをご確認ください。

公式HP

公式Twitter

公式Facebook

アドミッションセンター公式Twitter